

## 第33回 歴史&ハイキング愛好会例会 実施報告書

～国立西洋美術館60周年記念・松方コレクション他～

当番世話人 小澤 敏宣

立秋を過ぎたとは言え残暑の厳しい9月8日(日)、参加者17名は午前10時にJR上野駅公園口、東京文化会館前に集合し、直ちに近くの国立西洋美術館へ移動する。国立西洋美術館は開館60周年記念として、松方コレクション展を9月23日迄開催中。

明治、大正、昭和初期の実業家松方幸次郎が長年にわたって蒐集した19～20世紀のモネ、ルノワール、ゴッホなどフランス美術を中心とした絵画が展示され、館内は全国各地よりの来館者で混雑し、その芸術的人気の高さをうかがい知ることができました。鑑賞後は館前庭のロダン作品“地獄の門”前で全員の記念撮影をする。

次は徒歩10分の寛永寺清水観音堂へ移動、京都の清水寺を模した造りで、天海僧正により1631年(寛永7)建立され、本堂と本尊(千手観音菩薩)は国の重要文化財に指定されています。本堂の正面を舞台造りにし、琵琶湖に見立てた不忍池がここから眺望できる。

本堂参拝中に雨が一瞬パラパラと降りはじめ、情報では最強の台風15号が深夜に接近しているものの、状況の変化が心配されるため先ずは安全を考慮し、残念ながら次の行程である不忍池弁財天、旧岩崎邸庭園、湯島天神は中断せざるを得ないことになりました。

取り敢えず西郷さんの銅像下まで移動し、近くの格好な飲食店を探し出し、幸運にも店からは座敷の個室を設けて頂き、しかもほぼ全員が揃った、ゆったりとした楽しい昼食会及び、反省会となり午後2時に散会しました。

### ☆ JR上野駅公園口 東京文化会館前で、小澤世話人から行程案内



☆国立西洋美術館へ移動



☆入館チケット購入迄 20分待ち



☆モネ “幻の睡蓮” 修復後、初公開





“地獄の門”前で

参加者(敬称略) 17名

岩崎正憲、宇田川修作、遠藤哲也、小口健一郎、川股賢三、白岩仙一、住田勝治、田代周西長義方、橋本裕一郎、平木行雄、平木七重(ゲスト)、六角学、山田昌之、宮地秀幸、宮武亨、小澤敏宣

★ 寛永寺清水観音堂へ移動

